

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成29年度採択分）  
 「日本腎臓学会英文誌（Clinical and Experimental Nephrology と CEN Case Reports）の分野リーディングジャーナル化による腎臓病学国際情報発信力強化」  
 （課題番号：17HP1001）

学術団体名：一般社団法人日本腎臓学会  
 学術刊行物の名称：Clinical and Experimental Nephrology (CEN) , CEN Case Reports (CEN-C)  
 事業期間：平成29(2017)年度～令和3(2021)年度

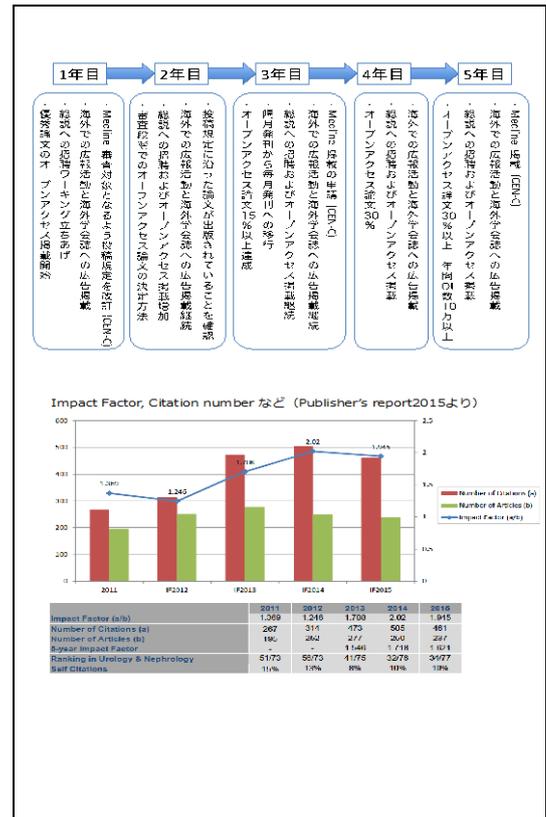
## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

CEN/CEN-C学術誌の国際的な位置づけを向上させることにより、わが国の腎臓学研究の国際情報発信力を強化し、我が国の腎臓病学の発展と診療・研究の水準向上を目的とする。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

1. CEN:腎臓領域研究のトップリーダーによるReview articleを招聘し、年間24編を目標にオープンアクセス(OA)論文として掲載する。
2. CEN:年間発行数を12号(毎月)とし、オリジナル論文200編程度に増やす。
3. 査読体制を強化・迅速化し投稿論文数倍増(CEN:1000, CEN-C:200編/年)を目指す(CENの採択率は20%前後、CEN-Cは約30%となる)
4. CEN:審査システムによる論文評価(点数制など)に基づき、著者負担なしのOA論文を30%(Review article, Original article, Special report含めて60編/年)とする。
5. CEN: Impact Factor 3.5以上、Nephrology & Urology領域の77誌のうち、10位以内を目指す。
6. CEN-C:Medline, Pubmed収載に向けて投稿・審査規程を整備し、申請、受理を目指す。



## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

1. Review掲載増加：CENへのReview論文は2018年間38編に達している
2. 発行号数増加：2019年からCEN年間発行12号とした。オリジナル論文2018年172編、2019年オリジナル論文135編見込み。
3. CEN, CEN-C採択率の適正化：2018年CEN26%、CENC43%、2019年現在CEN20%、CENC39%へと厳格化されている。
4. OA化の推進：OA論文は2018年38編、2019年現在まで20編で増加傾向
5. CENのIF向上：IFは2017年2.016、2018年1.971で上昇傾向を維持
6. CEN-CのMedline, PubMed収載：2018年に収載が受理された。

### ・今後の計画

学会誌に関する国内および国際発信強化(米国腎臓学会など)を継続することにより、CENの質の向上と投稿数増加を進め、IF 3以上への上昇を目指し、計画5年目終了後には1000編/年とする(受理数は200編程度、採択率を20%程度となる見込み)。

